

第33回東大ワールドカフェ「SDGsの使いこなし方を考えよう」開催報告

2019年10月19日(土)14:00~16:00、東京大学本郷キャンパス法文1号館2階219室において「SDGsの使いこなし方を考えよう」をテーマとし、第33回東大ワールドカフェが文明システムズ・地球環境・プロジェクト研究会と共催されました。

午前中はあいにくの雨で足元の悪い中でしたが、多くの方にご参加いただきました。

飛び入り参加もございました。SDGsに関連し、日本マクロエンジニアリング学会で支援させていただいている東大倉橋先生のバイオマス・ショアのチラシも配布しました。



露店でチラシ配布



法文1号館2階219室/会場全景 (多くの方が熱心に拝聴/ご質問等いただきました)



露店通り



第33回東大ワールドカフェ会場エントランス

**講演 1 「SDGs がビジネスや社会に問いかけて
いること」 広石拓司**

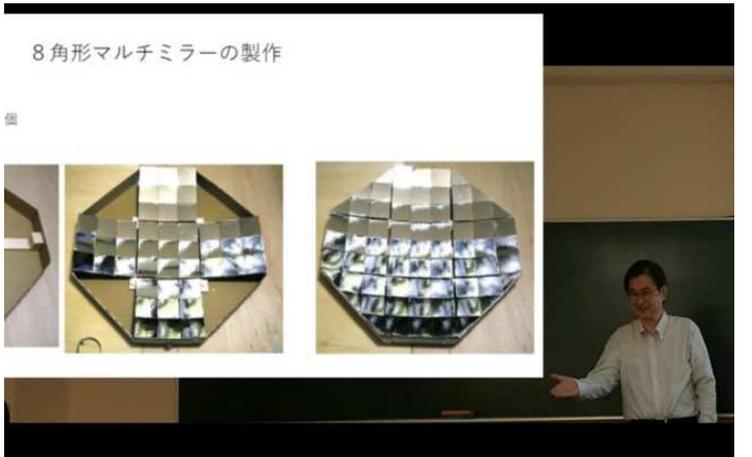
社会/環境の持続可能性、SDGs の変遷を概観され、社会/経済/環境が複雑に関連する世界における目標/問題解決の指標としてのSDGsは、変化に proact し続ける意思、パートナーを広げ、現場のネットワークに参加し、自社のビジネスを洞察することと主張されました。



広石拓司「SDGs がビジネスや社会に問いかけていること」

**講演 2 「回収資源を活用するソーラーキッチン
の可能性」 木下幹夫**

様々なタイプのソーラーキッチンを紹介した上で、炊飯 4 合/h、鍋の大きさ 28cm の 3～4 人家庭用のソーラーキッチンのサイズは 1m² (500W 前後の電熱式調理器に相当)、太陽熱は平等で潤沢、貧困でもエネルギーに困ることはない。合わせ CO2 問題も解決できると主張されました。



木下幹夫「回収資源を活用するソーラーキッチン
の可能性」

**講演 3 「福島市唯一の造り酒屋金水晶酒造店と
地域活性化」 斎藤美幸**

福島は新種鑑評会で 7 年連続日本一、金水晶酒造は福島市唯一の造り酒屋と自覚して、地元のお米、肴、観光と一体感を持ち、地域振興に頑張っている/福島で盛り上がっている。

経営理念「故郷の誇りを日本酒で伝える」の具体策はSDGsの実践そのものと主張されました。



斎藤美幸「福島市唯一の造り酒屋金水晶酒造店と地域活性化」

ワールドカフェセッション&ネットワーキング

おかわり自由で「金水晶」を試飲しながら、グループに分かれ、それぞれの経験とSDGsとの関りについて話し合った。



ワールドカフェセッション&ネットワーキング 総合司会：広石拓司